

学院ニュース

- ★ 4/27-5/6 ゴールデンウィーク休校
- ★ 学院 5月学カテスト日程 (最終ページ)

特集 東大生に見る作文の重要性 第2回

今月の行事

1～6日

ゴールデンウィーク休校

7日(火)

早稲田学院 授業開始

8日(水)

サクセス校授業開始

中旬

中学生・高校生 中間テスト対策

日曜日もしくは月曜日に教室開放しますのでテスト勉強が出来ます。

下旬

小・中学生 学カテスト

6月の行事

中旬

小6三者面談

夏期講習会外部生申し込み受け付け開始

中学生期末テスト対策

◆◆ 事務局からのお願い ◆◆

- ★銀行・郵便局の授業料引き落としは、毎月5日です。月謝袋の場合は、支払該当月の前の月の下旬(例 5月分の月謝は月謝袋を4月下旬)に生徒に配布いたしますので、該当月の10日位までに納入して下さい。
- ★月謝袋は整理の関係上、出来るだけ授業前に提出して下さい。
- ★欠席・遅刻の時は必ず連絡をして下さい。授業開始10分後に出席を確認し、自宅へ確認の連絡を入れます。
- ★住所、電話番号の変更があった場合は、郵便物が届かない恐れがありますので、お知らせください。
- ★筆記用具やテキストは忘れずに持参して下さい

5月だ♪、今月の目標は？

小4生 毎日やろう漢字の書き取りと計算問題

10分で良いから漢字の練習と基礎計算問題を毎日欠かさずにして下さい。これは基本中の基本で、漢字を読めず意味を正確に理解できない結果、文章題をやりこなせなかったり、文章の意味が理解出来ても、計算で間違えてしまったりする生徒が多いからです。

小5生 1学期の目標は基礎学力の充実

新しく学習する範囲がどんどん増えてきます。繰り返し復習して基礎基本をきちんと理解して下さい。油断していると毎年5年生で学習の消化不良が目立ち、落ちこぼれてしまいます。

小6生 弱点補強を1日1時間

難しそうな問題でももとは簡単な基礎問題の積み上げから出来ています。今解いている問題が難しいと感じたら、同じ学習範囲の基本問題をあらためて解いてみて、基本に立ち返ると、意外と簡単に解法がひらめくときが沢山あります。とにかく基本がしっかりしていないことには、応用問題を解くことは出来ません。

中1 中間テストで良い結果を！

3学期制の中学校では5月中旬、2学期制の中学校では6月中旬に定期テストが行われ、学校内での全体順位が出されます。定期テスト2週間前から勉強計画を立て念入りに準備を始めて下さい。また、学習ワークの提出等が求められたりしますので、早めに準備しておくことです。学院では対策授業を行います。

中2 中2の英語は入試を左右する重要な要素

英語の教科書を丸暗記しておく学習方法が、一番学力をつける学習方法です。読めて文章を書けること、これが全てです。英語は言語ですので、毎日の家庭学習中に声を出して読み、文章を書いて覚えてしまえば良いのです。それが英語の一番早いマスター方法です。

中3 受験勉強の方向を考えよう

公立と私立とでは、受験勉強の方向性が異なります。また内申書の取り扱い、受験教科数も異なります。夏休み期間中に各高校の見学会がありますが、やたらに見学をして時間を無駄に使っては何にもなりません。今の内にしっかりと受験動向を見極め、自分の進路を考えておくことです。

高1 中学時代とは大違い

高校生となりフワフワしているうちにやってきた中間テスト、中学時代とはレベルが違いますよ！ のんびりしていると赤点を取り、追試験を受ける羽目になります。高校の部活は中学時代よりはるかに厳しいので、疲れたなどと言ってごろごろしている内に、大変な事態となってしまいます。中学時代のようにワークの提出など殆ど無く、点数が取れなければ厳しい結果が待っています。

高2 中だるみするな

高校入学以来1年経過して、雰囲気にも慣れ先輩も入学して気楽な気分が出てくる頃ですが、調子に乗ってのんびりしていると、知らず知らずのうちに大変な状況に追い込まれていくのがこの学年です。今の内に本をたくさん読んだり、英単語を覚えて語彙力を上げておいてください。

高3 大学に行きたければ現役で行け！

推薦入試等を利用して進学する生徒は校内テストの成績が一番大切です。志望大学の内申の推薦基準値に自分の成績が達しているかを調べておきましょう。学力勝負の生徒は各大学の受験科目、入試出題傾向を調べ早めに対策を立てることで、現役は時間との戦いです。特に理科・社会関係は手が回らない状況に陥りやすいので要注意ですよ！

* 5月学カテストについて *

全校舎

小学生

5/23(木), 5/24(金)のどちらか一日
午後 4:30-6:10

小学生予備日 5/25(土)
午後 3:00-4:30

中1・2生

英 数	5/22(水)	午後 6:45-9:00
国社理	5/24(金)	午後 6:45-9:30

中3生

英 数	5/23(木)	午後 6:45-9:00
国社理	5/25(土)	午後 6:20-8:50

予備日

中1・2生	5/23(木)	午後 6:45-9:00
	5/25(土)	午後 6:20-8:50

中3生	5/22(水)	午後 6:45-9:00
	5/24(金)	午後 6:45-9:30



特集 東大生に見る作文の重要性 第2回

人は、アウトプットの割合が高いほうが暗記できるのです。多くの方が勘違いしているのですが、学力が上がる瞬間というのは、授業を受けているときや本を読んでいるインプットの瞬間ではありません。誰かに説明したり、問題を解いたりするアウトプットの瞬間なんです。そして、アウトプットとして**いちばん効果があるのが、作文**です。作文して何かを説明しようとするとき、丸暗記したことをそのまま書くことはできません。**自分の頭で考えて、その事柄を理解して、自分の言葉に直して書く必要があります。**

自分の中で納得していないと、1文字も文章が書けません。だからこそ、**作文をしようとする**と**記憶が定着するし、問題も解けるようになる**のです。

ただインプットだけしているのは、丸暗記しているのと同じです。一問一答の問題にはそれに対応できますが、入学試験をはじめとするもっと難しい試験には対応できません。それに、自分で知識を活用できるようにならなければ、社会でそれを活用することはできません。相手にきちんと説明できるように自分の頭で納得して文章を組み立てるという「作文の力」なのです。では具体的に、「作文」を取り入れた勉強とはどのようなものがあるのでしょうか？今回はそれを2つご紹介します。

■作文勉強法1: 白い紙に作文する「白紙勉強法」

1つは、「白い紙に作文する」という勉強です。**今日習ったことや本を読んで理解したことを、白い紙にどれだけ覚えているか書いてみるのです。何も見ずに、自分の記憶を頼りにして、文字にしてみましょう。**どんなことを勉強したのか？何が重要だったのか？本の内容や勉強したことを、自分の言葉で再現してみるのです。これを、毎日習慣的にやってみましょう。勉強したことをすべて書くのは大変ですから、1つの授業でも、今日読んだ本の30ページだけでもいいです。毎日作文し続けることで、この勉強は真価を発揮します。

はじめのうち、2割も白い紙に再現することができませんでした。何も見ないで、自分の記憶だけを頼りに真っ白な紙に書くというのは大変で、毎日自分の記憶力のなさに愕然としていました。しかし、何度もやっているうちに、だんだん再現度が高くなっていったのです。2割が3割になり、3割が4割になり……。気がつくと、勉強の内容を8割くらい再現できるようになっていました。これは何も、記憶力が上がったわけではありません。「後から作文しよう！」とアウトプット前提でインプットしたことで、インプットの質が高くなったのです。作文が勉強の前提になると、「作文で説明できるように、ちゃんと自分の頭で理解しなきゃ！」という意識で情報を頭に入れることになります。そうすると、頭への入り方が全然違うのです。この「白紙勉強法」は、作文することよりも、作文しようとする**ことそれ自体に意味がある**のです。アウトプットしよう**と努力**することで、成績が上がるのです。そして、ちゃんとアウトプット前提のインプットができるようになれば、自然と再現度も高くなっていきます。みなさんもぜひやってみてください。

進学予備校早稲田学院(中学・高校受験部門)

清見台校 〒 292-0045 木更津市清見台 1-23-21 Tel 0438-25-6363

請西校 〒 292-0807 木更津市請西南 2-25-2 Tel 0438-37-5511

大学受験講座「サクセス」

〒 292-0804 木更津市文京 6-11-17 Tel 0438-25-7878